

觀察話二つ

この二つの觀察話二つは保育實習科生の作であります。御批評下さいませ(編輯部)

一 ほづぶら

準備

ぼづぶらに就いて話をしようとする時は大きいもので無い爲に子供達の頭にピンミ來ないから、廣口瓶なごに溜り水をミつてぼづぶらを飼つて置く。その中に大きいものが鬼ぼづぶらになる。その時子供達の前にその瓶を置いて誰にも一樣に見える様にして話をするミ、良く子供達にわかるであらう。

元來ぼづぶらはある程度まで大きくなつてから成蟲になるまで略々一週間を要するのでぼづぶらから蚊になる瞬間は見付け難いからその道程を話すより仕方が無い。

皆此所にある瓶の中が見えますか、よく見える所にいらつしやいね。

瓶に水が入つてゐますがその中に元氣に動いてゐる小さいものがあるでせう、何でせうね。

今迄にこんなもの見た事ありますか？。

之ぼづぶらね、これがね、ブーン〜ミ飛んでくる蚊になる事知つてゐますか。

よく見てごらんない面白い事して遊んでゐますよ、細長い體をしてゐるのに尾が無いので泳ぎ方が變



つてゐるでせう。體をぐにやぐに曲げながら上へ行つたり下に行つたりしてゐるでせう。

一つのぼうふらを見てゐる事仲々出来ないでせう。こても早いから……、でも一寸でも止つた時よく見てごらんさい、面白いでせう。割に大きな頭があつて、その次のぎざぎざのある細長い所はお腹でせうね。きつこそが軟かいのであんなに曲る事が出来るのでせうね。

それからもう一つの異つたぼうふらがゐるでせう。此の形でも、變な形ね頭をお腹の中に入れ様にしてゐる様でせう、之は細長いぼうふらさんのお兄様なの。だからもうすぐ大人になるので形が異ふのよ。

ぼうふらは大人になる時形が變るのよ。でも之はぼうふらさんばかりでは無くて、きれいなお花にまゐる蝶々さんもそうなの。それからお庭の櫻の木にこまつてミーンミンと鳴く蟬さんだつてそうなのよ。

だからね、こゝにゐるぼうふらさん達はお父様やお母様と一緒にゐるのでは無いわけです。皆子供ばかりなの。若しかするこぼうふらさんの幼稚園かも知れ無いわね。一寸ぼうふらさんに聞いて見ませうか。

「もし〜ぼうふらさん〜、そこはぼうふらさん達の幼稚園ですか」……そうですよ、つて云つてゐます。皆樂しそくに泳いで遊んでゐます。お兄様のぼうふらさんは明日位になるこもう大人になつてしまふの、早いでせう。そしてあのチクンミさす蚊になつてぶんぶんこの瓶の中を飛び廻つてゐますよ。

明日幼稚園にいらしたら朝見てごらんさいね、きつこ大人になつて、ぼうふらさんの幼稚園を「面白い所です」つて見てゐる事でせう。小さい〜ぼうふらさん達も澤山遊んでゐるでせう。あのぼうふらさん達もだんぐ〜大きくなつて大人になるミブーンミ飛んで來ます。その位たつこ大人になるかしらね、皆で見てゐませう。

